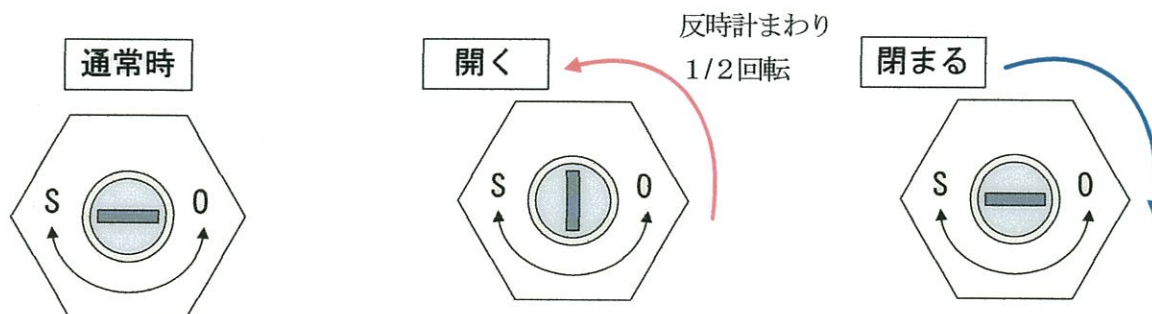
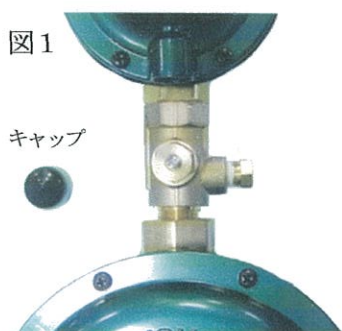


ガス放出防止器付バルク用調整器復帰手順

◆ガス放出防止器のリセット方法と注意事項

- 1) リセット部の黒いナイロンキャップを外してください。(図1)
- 2) マイナスドライバーでリセット弁体を左方向(時計と逆まわり)へ1/2回転してください。(図2)
(無理な力をかけますと故障の原因になりますのでご注意ください。)
- 3) 配管充気の為の必要な時間が経過しましたら、マイナスドライバーでねじ込み(時計まわり)リセット弁体を閉じてください。(図3)
 - ※ 配管充気に必要な時間(配管容積100ℓ【50A配管で45m相当】の場合 約30秒)
 - ※ 調整器出口側にバルブを設け、そのバルブを閉じてからリセットをすると配管容積が小さくなるのでリセット時間を短縮できます。但し、バルブを開くときは徐々に開いて、半開状態でガスの流れる音がしなくなってから全開にしてください。【バルブを急に開けますと瞬間的に作動流量以上のガスが流れガス放出防止器が作動してしまう恐れがある為】
- 4) リセット作業終了後、黒いナイロンを必ず取り付けてください。
(※下流側にガス漏れがある場合、配管充気ができずリセットできない場合があります。)
- 5) リセット作業は、確実にを行うため2回以上実施してください。



経済産業大臣認定事業所

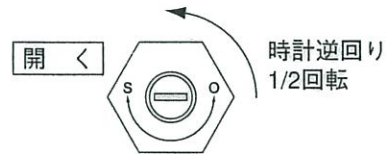
伊藤工機株式会社

⚠ 注意

ガス放出防止器のリセット方法及び注意事項

本調整器には、ガス放出防止器が内蔵されています。ガス放出防止器の弁が閉止したとき、下流側でガス漏れ及びガスの使用の無いことを必ず確認の上、下記方法により、リセットしてください。

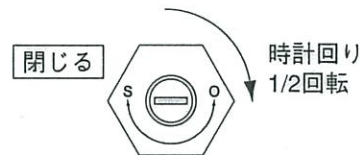
- 1) 調整器の下流側のバルブを閉じていることを確認してからリセット部の黒いナイロンキャップを外し、マイナスドライバーにより、リセット弁体を左方向（時計逆回り）へ1/2回転してください。〈無理な力をかけますと故障の原因になりますので注意してください〉



- 2) 配管充気のため必要な時間保持した後、マイナスドライバーでねじ込み（時計回り）リセット弁体を閉じてください。

※配管充気のため必要な時間

配管容量100ℓ（50A配管で45m相当）の場合、約30秒



- 3) リセット作業終了後、防水のため、リセット部に黒いナイロンキャップを必ず取り付けてください。
下流側にガス漏れがある場合、保持時間は、その流れている量に応じて、長くなるばかりか、リセットできない事もあります。

リセットできないときは、出口配管の漏れを確認してください。

リセット終了後、バルブを開く時は徐々に開いて、半開状態でガスの流れる音がしなくなるまで保持した後、全開にしてください。

バルブを急に開けますと瞬間的に作動流量以上のガスが流れて、ガス放出防止器が作動する可能性があり、バルブの開閉はゆっくり行うよう注意してください。

確実にリセットされるよう、リセット作業は2回以上実施してください。

4 維持管理について

⚠ 警告

4-1. 日常点検

- ① 日常点検は1ヶ月に1回以上、出口圧力・ガス漏れ・異音・外観等の確認を行い、異常があれば直ちに修理を行ってください。

- ① 出口圧力：規定範囲内の安定した圧力であること。
- ② ガス漏れ：周辺にガス臭の無いこと。
- ③ 異音：異常な音や振動が無いこと。
- ④ 外観：著しい腐食・損傷・ドレンのしみだしの無いこと、カバー通気口に虫の巣等の無いこと。

4-2. 定期点検

- ① 定期点検は1年に1回以上、次の検査を実施してください。

- ① 漏えい検査
- ② 調整圧力の検査
- ③ 閉そく圧力の検査